

2022年度

晴海キャンパス

中途入学 生徒募集のご案内

Aoba-Japan Bilingual Pre-school

Harumi Campus



1.当校の概要

名称	アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 晴海キャンパス		
所在地	東京都中央区晴海1-8-2 晴海トリトンスクエア 2F		
開校	2008年4月		
2022年度予定定員	156名		
定員	クラス名	定員	教師:生徒比率
	Seahorse(K1/1歳児)	12名	1:4
	Seagull(K2/2歳児)	36名	1:6
	Starfish(K3/3歳児)	36名	1:12
	Dolphin(K4/4歳児)	36名	1:18
	Whale(K5/5歳児)	36名	1:18
保育の種類	月極保育、延長保育、給食、バス送迎		
運営	株式会社アオバイインターナショナルエデュケイショナルシステムズ		
姉妹校	<ul style="list-style-type: none"> ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 芝浦キャンパス ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 早稲田キャンパス ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 三鷹キャンパス ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 中野キャンパス ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 下目黒キャンパス ・アオバジャパン・インターナショナルスクール(1歳半～高校3年。国際バカロレアPYP・DP認定校。国際認証機関 CIS、NEASC認定取得) ・サマーヒルインターナショナルスクール ・MIST Musashi International School Tokyo 		
開校曜日	月曜日～金曜日		
開校時間	7:30～19:30(基本保育時間は9:00～17:00) ※7:30～9:00と17:00～19:30は延長保育時間となり、延長保育料金が発生します。 ※ただし8:45以降に登校された場合、または17:15以前に下校された場合には延長保育利用対象外となります。		
休校日	土・日・祝祭日、GW(1週間程度)、夏休み(8月お盆期間中1週間)、年末年始、春休み(3月末から4月初旬に数日間)、職員研修日(年に1回 秋頃)		
建物	鉄筋コンクリート造 3階建ての2階部分 延べ床面積 518㎡		
施設の内容	保育室 6室・トイレ2か所(乳児用・幼児用)・職員室・事務室・給湯室・シャワー室・ライブラリースペース・校庭		
設備の種類	冷暖房完備、防災設備		
保険	(1)賠償責任の保険 ①賠償責任保険		

対人補償	1事故につき 10億円	対物補償	1事故につき 500万円
------	-------------	------	--------------

②生産物賠償責任保険

対人補償	1名1事故につき 10億円/期間中 10億円
------	------------------------

③受託者賠償責任保険

財物補償	対物1事故につき 100万円(免責1万円)
------	-----------------------

(2)個人情報漏えい対応保険

賠償責任保険	1事故・期間中共通 1億円
--------	---------------

(3)児童の傷害保険

死亡・後遺障害	500万円
入院・1日につき	5,000円
通院・1日につき	3,000円

(4)火災保険

設備什器等	2,500万円
借家人賠償	2,000万円

教職員 19名(うち外国人8名)、保育補助8名、看護師1名、事務2名、設備管理1名(2020年4月30日現在)

在校生保護者 日本(約85%)、中国、アメリカ、イギリス、台湾、韓国、インド、フランス、フィリピン
出身地

理事長

柴田 巖

京都大学(工学修士)、London School of Economics (MSc)、Kellogg Graduate School of Management (MBA)卒。コンサルティング会社等を経て、1998年、インターネット事業を手がける㈱エブリデイ・ドット・コムを設立。エブリデイ・ドット・コム、オレンジライフ、旬工房等の代表取締役を歴任。現在、ビジネス・ブレイクスルー取締役、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院教授、アオバジャパン・インターナショナルスクール理事長、アオバジャパン・バイリンガルプリスクール理事長、サマーヒル・インターナショナルスクール理事長。

校長

伊藤 友美

東京都出身。アメリカ・マサチューセッツ州 Salem State University にて Early Childhood Education を専攻し卒業。マサチューセッツ州 Early Childhood Educator の資格を保持。
アメリカ国内の公立や私立のプリスクール、また日本でも公立の保育園で勤務していた。
キャリアを通じて、様々な特別支援教育、子供たちのための多様でグローバル化された学習環境における経験も豊富。アオバジャパン・バイリンガルプリスクールに2019年に入社、2020年に副校長、2021年に校長に就任。

アドバイザー・支援体制 Mr. Ken Sell アオバジャパン・インターナショナルスクール 学園長

オーストラリア出身。The University of Queensland で教育学修士を取得。これまで、ノルウェーや中国深圳の国際バカロレア認定インターナショナルスクールで Head of School を歴任。2014年8月に、アオバジャパン・インターナショナルスクール学校長(Head of School)に就任。

Mr. Kevin Page インターナショナルスクール・オブ・ベルン 名誉校長(スイス)

ニュージーランド出身。イギリス・スイス・オーストリア・ドイツのインターナショナルスクールで教鞭をとる。この間、特定の国家が規定するカリキュラムではない国際的な幼児初等教育カリキュラムを構築する活動(のちの国際バカロレア PYP)に深く関与。

ミッション	<p>私たちは、グローバルな視座を持ち、思いやりがあり、協力的で、そして学ぶことに深い喜びを感じ、リスクを恐れず新しいことに挑戦し世の中を変えていくことのできる、そうした生徒を育てていくことを信条としています。</p> <p><i>We are dedicated to developing global-minded, compassionate, collaborative students inspired to learn, take risks, and lead change in the world.</i></p>
ビジョン	<p>私たちは、学習に適した安全でサポーターティブな環境の中、生徒たちに厳しくしっかりと国際教育を提供する、一流のスクールになります。学ぶ者のニーズは支援され、独自のものの見方は歓迎・尊重され、価値観は大事にされ、育まれます。生徒一人一人は将来待ち受けるベストの状況を確保し、成功するためにいくつもの機会を与えられます。</p> <p><i>Aoba-Japan Bilingual Preschool will continue to be a leading school by providing students with a rigorous international education in a safe and supportive environment conducive to learning in which learners' needs are supported, their perspectives sought and respected, and their unique qualities valued and nurtured. Through a continued emphasis on educational excellence and innovation, each individual student will be provided relevant resources and opportunities that will enable them to secure the best of what the future holds for them.</i></p>
理念	<p>“Be the best you can be” / 一人ひとりのベストな才能を開花しよう</p>



2. 2022年度のプログラム概要

国際バカロレア に基づく 探究型学習

当校は国際バカロレア協会の審査を経て、2017年3月23日をもって、国際バカロレア初等教育プログラム（International Baccalaureate Primary Years Program 以下「IB-PYP」）の認定校として承認されました。

国際バカロレア（IB）は、「探究型学習」という学習アプローチを採用しています。発達段階に応じた児童の興味を喚起するテーマが提示され、児童は能動的に探究し、仲間同士で新たなものを創りあげたり、自己表現したりすることを繰り返します。この過程で将来の論理的思考力、創造力、チームワーク力、プレゼンテーション力等の基礎を育みます。またIBの探究型学習は、文部科学省が2020年度に全面改訂を予定する小学校の学習指導要領で重視される「アクティブ・ラーニング」と呼ばれる手法と親和性が高く、将来の為だけではなく、小学校入学時から大きく役立つものと存じます。

なお国際バカロレアの認証維持には、約5年に一度の監査に合格する必要があります。当校は、IB認定校である限り、児童にとってよりよい環境の維持・改善を行います。

バイリンガル教育

英語力修得のゴールは、いかに多くの単語やフレーズを記憶したかではなく、どれだけ自発的に伝えたいことを伝えられるか、にあります。この目的達成のため、英語を子どもの興味や好奇心から切り離された単独の教科として学ぶのではなく、国際バカロレアの探究テーマに連動し、好奇心があることを英語を使いながら探究することを通じた学びを重視します。

先生は一方的に教えるのではなく、積極的な語りかけ・対話を意図的に行います。このアプローチにより、児童は自発的に「英語で話したい」内容と動機が生まれ、英語で自由に自己表現できる力が育まれていきます。複数名の英語講師に加えバイリンガル教員も複数常勤し、学びの時間だけではなく日常的に英語に触れ合う環境があります。

1,2歳児は集中力が短いこともあり、無理の無い形をとりつつも積極的な語りかけ、歌、遊びを通じて英語の耳を徹底的に養います。英語のみの時間のほか、普段の時間も英語またはバイリンガルの先生が積極的に英語で話しかけていきます。

3,4,5歳児は、国際バカロレア（IB）のプログラムがスタートしますので、IBの探究活動ならびに関連したトピックの時間が主となります。曜日ごとに言語を変え、フォーマルな英語教育だけでなくさまざまな活動を英語で行い、英語での自然なコミュニケーションを通じて英語力を獲得するイマージョン（英語に浸る）教育を導入します（後述の時間割モデルをご参照ください）。

時間割のモデルスケジュールについて

下記は標準的なスケジュール例です。年次や学期によって具体的な時間割は異なります。最終版は各年度の開始前に配布します。

K1, K2 モデルプラン

9:00-9:30	ラーニングセンター Learning center
9:30-10:30	朝の会・テーマ活動 / Morning circle, Thematic Activities
10:30-11:00	外遊び / Outside play
11:00-12:30	ランチ準備・ランチ / Preparation for lunch, Lunch time
12:30-14:30	おひるね / Quiet time (年齢によりおひるね時間は増減します)
14:30-15:00	午後の活動準備 / Preparation for afternoon
15:00-15:30	スナックタイム Snack time
15:30-16:30	テーマ活動、言語・かず・フォニックス・アート・音楽・リトミック、帰りの会 / Thematic Activities, Arts, Crafts, Music, Eurhythmics, Phonics, Language, Afternoon circle
16:30-17:00	ラーニングセンター Learning center

K3, K4, K5 モデルプラン

*「UOI」と書かれた時間はIBの探究テーマ(Unit of Inquiry)の時間です。
*外遊びは、年齢やおひるねの有無に応じて、適切な時間帯に行います。

8:30-9:30	ラーニングセンター Learning center
9:30-9:50	朝の会 / Morning circle
9:50-12:00	UOI/Unit of inquiry
12:00-13:00	ランチ / Lunch time
13:00-14:30	おひるね / Quiet time (年齢によりおひるね時間は増減します)
14:30-15:00	スナックタイム・午後の活動準備 Snack time, Preparation for afternoon
15:00-16:30	スペシャルプログラム・言語の時間・帰りの会/Special Program, Language time, Afternoon circle
16:30-17:00	ラーニングセンター Learning center

年間行事(標準的な事例)

4月	入学式、Spring Carnival(A-JIS 光が丘)
5月	春の親子遠足(K1・K2)、内科健診
6月	歯科健診、授業参観、保護者会、個人面談
7月	七夕、水遊び
8月	Summer School、夏休み
9月	引き取り訓練
10月	Sports Day(運動会)、Book Day、内科健診
11月	秋の遠足(K1・K2)、歯科健診、授業参観、保護者会
12月	Winter Concert
1月	お正月 Week
2月	節分、三者面談
3月	三者面談(K3-K5)、卒業式、春休み

*年度、学年に応じて変更があります。

